

## 第一話 「クルミド出版、はじめます。」

カフェが本をつくる？いえいえ、出版業をやりたかったとか、そういうことではありません。お店で人に出会い、大好きになったその人とともにできることを考えていったら、それが「本」にたどり着いたということなのです。お店も、ひとつの表現。本も、ひとつの表現。それがその先、思いもかけない波及効果を生んだりするのが、表現のおもしろいところですね。

それがどんな波及なのか、効果なのか。あらかじめ予測することはできません。ただぼくらは、そのひとつひとつの機会に、ある意味淡々とありつたけの力を注ぎ、贈る。その先のことは、ぼくらも楽しみに待つことにしたいと思います。

：

このクルミド出版つうしんでは、本をつくる過程のこと、本をお届けする過程のこと、随時、お伝えしていこうと思います。どうか温かく見守っていただけましたらと。どうぞお楽しみに！

(影山知明)

